

美浜町社会福祉協議会

でんでんむしの家

令和元年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(17:40~18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	0人	0人	6人

前回の改善計画	
	・利用開始前にできる範囲で生活歴や趣味、生活リズムを把握し情報として共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・報連相ノートや毎朝のミーティング、内部会議等である程度の情報共有ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	5	1	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	5	1	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	6	0	0	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	5	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネによるフェイスシートを通じて利用前から情報共有できている。 ・内部会議にて、新規利用の方について話す時間を設けている。 ・利用者が地域の中で関わりのある方とも情報共有できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に把握する手段がフェイスシートのみで情報が共有されていないケースがある。 ・ケアマネが対応している為、家族と会う機会が少なく、望む事が把握できていない。 ・利用開始が間もない次期に、当面の支援にばかり意識がいき、本人や家族が望む事が十分に把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用開始後も、その方をより深く知れるよう会話などで得た情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(18:00~18:15)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	2人	2人	6人

前回の改善計画	・本人の目標が現在の本人の目標となっているかを、定期的に確認する場を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の利用者の変化には対応できているが、長期目標や目的に対し日々の対応に追われ支援ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	2	4	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	2	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	1	0	6
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	3	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・当面の希望に対し日々の関わりの中で支援できている。 ・利用者の地域での生活における希望を理解し、地域の中のキーパーソンと情報を共有している。 ・本人の希望や目標を、職員間で振り返りを行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・長期の目標や希望の共有方法がなく、把握できていない。 ・日々の関わりの中で将来的な話や目標を聞く時間や場所がなく把握できていない。 ・利用者全員の目標や希望を会話の中から把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標や希望を定期的に確認する場を設け、支援についての話し合いを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(18:15~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	0人	4人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者の好きだったことを知り、生活リハビリの一環として取り込めるよう情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・好きだったことや得意だったことを知り、提供できているがリハビリとして取り込めていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	1	4	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	1	2	0	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	2	4	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	5	1	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	5	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・体調や状態の変化を職員間で共有し介助できている。・本人を知ることが出来るよう、昔の話や現在の生活の話聞いている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・以前の生活について、職員間で共有する場が内部会議のみになり、ケアマネからの情報のみになっている方がいる。・利用者の昔好きだった事や得意だった事などは聞いているが、日々の支援に追われ、実際の支援に繋がるよう意識できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・表情や言動から本人の思いを受け取り、職員間で共有しより良い支援に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(19:00~19:20)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	2人	0人	6人

前回の改善計画	・利用者さんが頼りにしている人、関わりのある人を知っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者が地域の中で繋がりのある方や、支援して下さる方を把握できるよう意識した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	1	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	2	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	2	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	4	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・必要な方に対し、地域の方や民生児童委員、家族と連絡を密に取れている。 ・以前から関わりが持てている方と継続し繋がりを持てている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ケアマネや管理者が対応しており細かな申し送り方法がなく、事業所全体として関わりが持てていない。 ・家族と同居されている利用者などは地域との繋がりが少なく、地域資源との繋がる方法が限られており利用者全員の地域の方や民生児童委員と繋がりが持てていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者が地域の中で関わりのある方について、会話や家族からの聞き取りを行い必要に応じ繋がりを持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(19:30~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	4人	0人	6人

前回の改善計画	
	・地域資源を把握し、関わりを増やし少しでも「でんでんむしの家」を理解してもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・地域の方と関わりが徐々に持てるようになったが、事業所の場所や内容、特性など理解が少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	2	0	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	4	1	0	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	4	2	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	3	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・急な泊まりや訪問に柔軟に対応できている。 ・状態の変化などに対し、朝のミーティングにて報告し共有出来ている。 ・通い回数や訪問内容、訪問時間を内部会議にて職員間で確認し、家族への報告も出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・本人の思いや希望が記録には記載出来ているが、職員間で話し合う時間や場が少なく実践には繋がっていない。 ・支援に対し本人の思いを聞く時間が少なく、本人の思いを受け止められていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・小規模計画書にて本人の目標やニーズを確認し、職員全員で意見を出し合いプランに反映していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(20:30~20:45)

6. 連携・協働

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	2人	2人	6人

前回の改善計画	<p>・世代間を越えた交流の場となる取り組みは継続し、地域の活動に積極的に参加する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・地域への活動に参加は行なえたが、世代間を越えた方の交流の場には行事の際のみになっている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	0	3	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	3	0	3	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	2	1	2	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	2	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・運営推進会議、担当者会議、福祉学習に担当職員として参加した。 ・地区の防災訓練等、地区の行事に参加した。 ・青空喫茶やおしゃべりサロンへの場の提供を行い、地域の方が訪れる機会に繋がった。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・日々の業務があり、担当職員等の限られた職員しか参加できない。 ・地域の行事への参加をしているが、その後の報告や支援へ繋がる体制ができていない。 ・地域との繋がりが少なく、日頃から立ち寄れる事業所との認識もされていない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・各職員が参加した活動や会議、行事の目的や意味、内容を他の職員に伝え共有する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(20:45~21:00)

7. 運営

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	2人	0人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">職員間でのコミュニケーションを密にし利用者、家族、地域からのご意見に対応できる体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">利用者や家族からのご意見や希望について職員間で共有し対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	2	4	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	2	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	2	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	3	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">利用者に関する事で各地区の福祉委員会へ参加や地域の方からの意見と一緒に検討し対応できている。独居の利用者について地域の方からの意見を家族に伝え、事業所の役割、家族の役割を分担し対応できている。地域の方と意見を出し合い、青空喫茶などのイベントに繋げている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域との繋がりについて意識はしているが、日々の事業所内の対応に追われ実践できていない。地域の会議に出た職員からの伝達方法が書式のみとなり、十分な共有が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">利用者の活動をパンフレットやブログで発信し、パンフレットを送迎車に常備し、いつでも地域の方に配れる工夫を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(21:00~21:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	2人	0人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">積極的に研修に参加し、研修で得た知識を共有する場を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">内部、外部の研修へは可能な限り参加できているが、職員間で共有する機会が少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	0	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	1	2	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	1	2	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	3	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">職場内での研修の実施と参加が出来ている。外部の研修への積極的な参加が出来ている。各利用者の個々のリスクを共有し、日頃から想定し支援で出来ている。事故めですべてないケースでもヒヤリハットとして職員間で共有し、対応策まで検討出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">勤務時間外の研修へは、時間が合わず参加出来ていない。研修に対し参加意識が低く、特に外部の研修への参加が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">積極的に研修に参加し、参加した職員は内部会議にて研修報告を行い共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月4日(21:15~21:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	3人	0人	6人

前回の改善計画	・事業所としてプライバシー保護、個人情報管理が徹底されているかを、定期的に確認する場を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ハード面において可能な限りプライバシー保護に努めているが、定期的な確認は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	1	0	0	6
②	虐待は行われていない	5	1	0	0	6
③	プライバシーが守られている	3	3	0	0	6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	0	5	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	3	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束、虐待は研修への参加も出来ており、行われていない。 ・ハード面において個人情報の管理が出来るよう意識出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見制度について対象の利用者がおらず活用方法が理解出来ていない。 ・利用者の前で他の利用者の話をする事があり、プライバシーについて意識の低さを感じた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・事業所としてプライバシー保護、個人情報管理が徹底されているかを、定期的に確認する場を設ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人	代表者	坂田 俊明	法人・事業所の 特徴	当事業所は民家を改修した建物で家庭的な雰囲気大切にしており、地域に溶け込んだ佇まいで、地域との繋がりを重視している。利用者が今まで築いてきた地域や家族の中でひとり一人が望む暮らしが出来るように、必要に応じて機能を活かせる支援をしている。 また、家族ともコミュニケーションを多く持つようにし情報を共有するとともに、家族を支援することも意識している。
事業所名	でんでんむしの家	管理者	池田 直暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修等で定期的に事業所を自己評価する機会を設ける。また事業所の課題を運営推進会議等で議題として挙げ、外部からの意見を活かした改善に向け取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体で意見を出し合って評価を行なっている様子がわかった。 個人評価や事業所評価が各職員や事業所の振り返りの場になっていると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が常に問題意識を持ち業務にあたるのは大変だと思う。 問題意識の為に業務をする事で介護の仕事の本質から外れないよう、事業所評価が定期的な振り返りの場となれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部会議等で定期的に改善計画を確認し、振り返りの場を設ける。また運営推進会議で出た意見を職員間で共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代の方々が来てもらえるよう、行事の企画や雰囲気づくりを行なう。また、地域の方と交流が出来るよう、地域行事等に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で訪れるが、不快な臭いもなく、清潔が保たれている。 夜間以外は玄関の鍵が開いており、入りやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層が訪れる機会は少ないが、事業所を活用した青空喫茶やおしゃべりサロンに協力する事で事業所内に入ってもらえる機会は設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な年齢層の方が気軽に来てもらえるよう、行事の開催や事業所の玄関前の花や、植木を絶やさず立ち寄りやすい雰囲気作りを行なう。また、地域の行事に利用者と参加し、関わりを深める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に事業所を知ってもらうよう、回覧板や広報誌を活用し情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷市区についてはレクリエーション大会や防災訓練に職員が参加しており、区民の方に事業所は周知されていると感じる。 郷市区以外の地域では、事業所の名前は聞いたことはあるが、場所までは知られていない声を耳にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が介護で困っている相談をされた為、でんでんむしの家に相談したケースがあった。早急に対応してくれて良かった。 事業所の建物に看板はあるが、位置が高く道から見えづらい。 外灯の看板等を利用し、事業所の場所を分かりやすく知らせようか。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の看板の位置の検討を行い、見えやすく工夫する。また、各地区の行事に参加し、パンフレット等を活用し事業所を知ってもらう。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議にて事例を用いて利用者や問題を抱えている住民への支援について助言をもらい、より良い支援に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員会等で利用者以外の地域の方の情報を共有できている。 運営推進会議の報告にて外出等を行なっている様子がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサロンに利用者と職員が一緒に参加しており、利用者が地域との関わりを継続できるよう支援していると感じた。 職員が各地区の福祉委員会へ参加し情報を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の福祉委員会等で得た情報を職員間で共有し、課題の解決に向け検討する場を設ける。また、内容に応じ、運営推進会議の議題として検討する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議において事例検討や勉強会ができるよう、会議内容の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料以外でも口頭での説明で日頃の事業所の取り組みや様子が理解できる。 利用者の細かな状態が把握できない為、事例検討は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は運営推進会議にて勉強会は出来ていないが、改めて「小規模多機能の役割」について勉強会を行なっても良いのではないかと感じる。 運営推進会議において困難事例に対し、専門的な意見は難しいが、地域住民からの視点としての意見は出しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議において「小規模多機能の役割」や「認知症の理解」についてなどの勉強会を行なっていく。また事例検討を行い、情報共有を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の作成を行い、防災や災害時に必要な備品を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練に職員が参加している。 事業所の防災訓練の開催は知っているが、参加したことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災マニュアルはあるが、防災計画は進んでいない。 地域住民の立場から災害時、認知症の方への対応等、事業所職員は頼りになる存在だと感じる。 避難場所の確認や災害時の家族との連絡方法など、具体的な内容を踏まえた訓練を行なうと良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の作成を行なう。避難場所の確認や災害時の家族や、各関係機関との連絡方法の確認を踏まえた訓練を実施する。